

【令和4年度 第4回町政懇談会】

開催日時 令和4年7月22日（金）午後7時～

開催場所 阿賀町公民館

出席者 神田町長、阿部町民生活課長、五十嵐まちづくり観光課長、清野学校教育課長、安澤鹿瀬支所長、鈴木総務課長補佐、長谷川行政係長

参加者数 16人（鹿瀬区7人・向鹿瀬区1人・深戸区3人・菱潟区1人・角神区1人・芦沢区1人・谷沢区1人・芹田区1人（うち議員2人））

（青字：その後の対応・回答・調査等）

質問・回答の要旨	回答等の要旨
<p>◆支所脇の遊歩道の除草をしていただきたい。獣が出そうで怖いです。</p> <p>◆麒麟山は町にとって観光名所だと思いますが、その周辺の散策道の除草等、適切な管理をしたほうがよいと思います。</p> <p>◆三川温泉にあったトレーニング機器は、今どこに配備されているのですか。一般の人も使えるようにしてほしい。</p> <p>◆健康増進のためトレーニング機器の有効活用を図ることはいいと思います。指導者等安全に使う対策もお願いします。</p> <p>◆サルの被害が減らない。対策の効果がみられない。パトロールの支援員の実績はどのくらいですか。</p>	<p>・皆さんに利用していただくための道路なので、藪になっていては危険なので確認し、適切な管理に努めます。</p> <p>⇒除草実施</p> <p>・麒麟山については町のシンボルですので、大きくなった木の伐採等の整備をしたいと考えていますが、県の文化財になっているため協議を進めているところです。</p> <p>・現況を確認し、多くの皆さんに利用いただくようお知らせしたいと思います。</p> <p>⇒県艇庫6台・津川B&amp;G1台・やまぶきの里1台</p> <p>・使いやすいようにお知らせしていきます。</p> <p>・有害鳥獣対策は、阿賀町においてはどの地区でも課題になっています。</p>

◆議員報酬の見直しについて、若い人が議員になりたいと思えるように、子育てしながらでも、議員報酬だけで生活できるぐらいでないといけないと思います。

◆「障害」の文字の表記は、「障がい」としてほしい。

◆施策にスポーツの振興、生涯学習の推進とあるが、子どもは子ども、高齢者は高齢者ではなく、子どもと高齢者一緒になった事業、例えば、ボッチャパラスポーツ等、生涯学習課として生涯学習を推進してほしい。

◆阿賀町には良い湧き水、名水があり、調査をしていると思いますが、観光としての活用のお考えはありませんか。

・サルの捕獲実績ですが令和元年度 131 頭、令和 2 年度 215 頭、令和 3 年度 236 頭です。頑張ってくださいありがとうございます。

他自治体に比べても経費をかけて対策しています。ドローンなど最新の対策もしていますが成果があらわれず、せっかく作った作物が被害にあうのは非常に残念に思っているところです。

・特別職の報酬にあつては第三者委員会に審議いただきながら最後は議会で決定することになっています。議員さんの意見を尊重しながら検討していきたいと思います。

・障害者手帳など法律の中で定められていますので漢字を使用しています。ただし、行政の事務において、阿賀町にあつては 8 年程前から「害」は使用しておりません。

・子どもから高齢になるまで生きがいをもって学習するは重要であると思います。子どもと高齢者が一緒になってやることでお互いに良い面があると思います。いただいたご意見を教育委員会へも伝え、皆さんの活動を支援していきたいと思います。

・名水を観光に活用ということですが、区長さんから協力いただき名水を調査しております。水質等も調査し、まとまったら冊子になる予定です。図書館等において皆さんから見ただけのように、そして、観光に繋げていきたいと思っています。

◆麒麟山温泉の危険空き家はどのように考えているのか。

◆豪雨災害時の迂回路として、林道天名品沢線を町道とし、道路拡幅改良を進めてほしい。

◆基本計画の中に、「活力ある産業のまち、若者が夢と希望をもって働くことができる、発展性のある活力にあふれた産業のまちをつくります」とありますが、廃校となった校舎を活用した企業誘致などのお話はありませんか。若者の働く場の確保をどのようにすすめる考えがおありですか。

・麒麟山温泉の対応について、所有者に何回も解体してくださいと交渉しています。条例の適用も含めて対応していきたいと考えています。  
・空き家について、昨年度調査を実施し、954件の空き家を確認しました。また、このうち410件を危険空き家候補として詳細な調査を実施する予定です。

・町全体の災害対策工事としましては、現在は、県による堤防工事を進めているところです。

この道路は大事な林道であると認識しています。全線改良は事業規模が大きいため、まずは、見通しのきくところですれ違いができるなど、より安全に通行できるよう検討してまいります。

・廃校の活用は発信していますが、全国的にも同様であり、いまのところ反応がありません。規模に関わらずこの町で業を興してもらえるようにと考えています。